

【タイ】

1-2 月の市場動向トピックス

- 2019 年 1 月の訪日タイ人数は、前年同月比 12.1%増の 92,600 人で、1 月として過去最高を記録。
- 2019 年 2 月の訪日タイ人数は、前年同月比 31.4%増の 107,800 人で、2 月として過去最高を記録。
- 夏ダイヤに引き続き、冬ダイヤにおいても LCC を中心に新規就航や増便が相次いでいること、また、昨年 10 月から展開した冬季向け特設サイトや広告、11 月の旅行フェア開催等の継続的なプロモーションに加え、下記 TITF への出展により出発日間際の訪日旅行者への誘客促進を図れたことなどが、訪日者数増加を牽引したと考えられる。

1-2 月の主なプロモーション活動

◆ 北海道へのメディア招請

1 月 21 日から 26 日にかけて、タイの人気 YouTuber の Bearhug (Atthakorn Rattanaorn (ニックネーム Kan) と Pattamaporn Preechawuttidech (ニックネーム San) の 2 人組、チャンネル登録者数約 245 万人) を北海道に招請した。雪の美術館や二条市場、定山溪温泉等への訪問の他、スノーアクティビティや熱気球 (富良野)、ワカサギ釣り (新篠津)、人力車 (小樽) 等の様々なアクティビティを体験。招請中は両者の SNS にてリアルタイムで情報発信するとともに、招請後は YouTube に動画を公開。公開直後の動画は YouTube の急上昇ランキング 2 位を記録、3/13 時点で再生回数は 150 万回を超えている。JNTO タイ語サイトでも関連の特設ページを公開した (<https://www.jnto.or.th/hokkaido2019/>)。



招請の様子



YouTube 動画



特設ページ

◆ タイの国際旅行フェアへのジャパンゾーンの出展

2 月 13 日～17 日にかけて、バンコク市内において、Thai International Travel Fair #24 (第 24 回 TITF) が開催され、JNTO 及び日本側出展者から形成される、60 団体 89 小間によるジャパンゾーンを出展し、全国各地の訪日旅行の PR を行った。出展ブースは桜をテーマとし、また、各地の桜の魅力や開花予想情報等に関する特設コーナーを設け、春の訪日旅行の需要喚起を行った。



多くの来場客で賑わうジャパンゾーン



JNTO ブースでの日本関連パンフレット配布の様子